

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

『鬼瓦』で埼玉県伝統工芸士に認定



鬼板師  
つかごしひさよし  
塚越久義さん

磨きをかけ  
魂を込める鬼瓦

四角い粘土からさまざまな表情の『鬼』を描き出す。七ツ梅酒造跡に構える鬼瓦工房『鬼義』の塚越さんは、関東でも数少なくなった鬼瓦職人です。鬼瓦職人は、『鬼板師』とも呼ばれ、瓦に鬼や植物・水などをモチーフにした伝統的な図柄を描き出します。塚越さんのつくる鬼瓦は丁寧に『磨き』をかけ、美しさと強度を兼ねたものになっています。

前職があり、もともと瓦とは全くの無縁であったという塚越さん。「全く知らなかったからこそ、この世界に飛び込むことができたんだと思います。」と話すように現在、鬼板師は危機的な状況に置かれています。鬼瓦や昔ながらの瓦の需要は落ち込み、伝

統的な建築物でさえも、大量生産される安価な瓦との競争が起きています。「寺社仏閣が多く、瓦需要が多い本拠地ともいえる京都ですら鬼板師がいなくなっています。」と厳しい表情で語ります。

こうした厳しい中でも深谷で工房を開き8年が経過しました。平成30年11月には、これまでの活動が認められ県から『埼玉県伝統工芸士』の認定を受けました。埼玉県伝統工芸士とは高度な技術・技法を持つかたに授与される称号で制度開始から26年間で220人が認定を受けています。

今までの着実な取り組みが評価された塚越さんは、今日も静かに土と向き合います。



▲上田埼玉県知事に鬼瓦の説明をする塚越さん(写真右)。

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

埼玉県農林公園 Part2



ここは、農林公園の中にある『木材文化館』だよ！埼玉県でとれた木材を使って建てられた『木材』をテーマにした建物で、展示とか木工教室とかをしているよ。平成30年6月には、リニューアルして『木育ひろば』ができたんだってえ。



▲『木育ひろば』に来たよ。室内に入ると木のやさしい香りがして、とても心地いいねえ。ここには、木を使った遊具とかおもちゃがたくさんあるんだよ。小さなお友達でも遊べる遊具もあるから、みんな遊びに来てねえ♪



▲わーっ！木の玉でいっぱいプールだよ！気持ちよさそうだねえ。この『木玉プール』には、4,000個くらいの玉が敷き詰められているんだって。木ならではの温かい手触りが大評判なんだって。みんな順番を守って楽しく遊んでねえ♪

ふっかちゃんの  
つぶやき

あけおめ！深谷ねぎが美味しい季節になったねえ〜♪1月27日頃の深谷ねぎまつりもオススメだよお〜！  
Y(o0w0o)Y



# 新庁舎

建設進行中！第9回

深谷市役所は、2021年4月に新庁舎へと生まれ変わります。このコーナーでは、新庁舎に関する情報をお知らせしていきます。問い合わせ/新庁舎建設推進室 ☎501 - 2610 今までの取り組みや最新情報は市ホームページをご覧ください。 [深谷市庁舎建設](#) [検索](#)

## ■1階床の工事を進めています

免震装置設置工事は順調に進み、現在は1階床の工事を開始しています。

### ■今後の予定

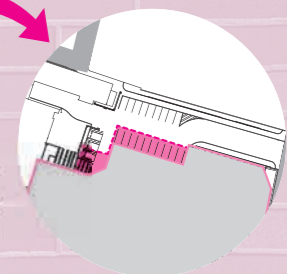
- 1月 免震装置設置工事、免震上部基礎工事、1階梁・床工事
- 2月 免震上部基礎工事、1階梁・床工事、1階PCa工事（柱部分の工事）

※PCa（プレキャストコンクリート）=工事現場で流して固めたものではなく、あらかじめ工場で作られたコンクリート製品

## ■市役所東側駐車スペースが一時的に減少します



濃い赤色の部分が、一時的に減少する駐車スペースです。



▲1月21日(月)~31日(休)まで市役所本庁舎東側の駐車スペースが減ります。駐車の際は、庁舎西側の臨時駐車場をご利用ください。

## 市民課・市民税課で取り扱う『証明の発行』は各総合支所(岡部・川本・花園)が便利です

住民票の写し、印鑑証明書、戸籍謄・抄本、税証明などの『証明』は、各総合支所で取得できますので、ぜひご利用ください。



▲現在の工事の様子（12月14日撮影）。免震装置設置工事は、西側の一部を残すのみとなりました。現在は、1階床の工事を進めています。

## 心の広場

常盤小学校6年(現 幡羅中1年)  
矢部 達也 さん



### 言葉の大切さ

ぼくには、大切な友達がたくさんいます。ぼくは、友達がいるからこそ学校生活が楽しいと思っています。友達と関わる上で必ず使うのが言葉です。

「おはようございます。」「おはよう。」

この一言で「一日が始まるぞ。」とスイッチが入ります。そして「おはよう。」の一言が言えると、すがすがしい気持ちになり、心が温かくなります。ですので、ぼくは朝のあいさつは必ずするように心がけています。

また、友達と関わる中で「ありがとう」の言葉も大切にしています。友達に物を借りた時、助けられた時、協力してもらった時、どんなに小さなことでも、「ありがとう」をきちんと言うようにしています。みなさんご存知のように、「ありがとう」は感謝を表す言葉です。六年生になってから「ありがとう」は言った方も言われた方も心が温まる魔法の言葉だと習いましたが、その通りだと思います。

ぼくは少年サッカーチームに入っています。サッカーは大人数でするチームスポーツです。その為自分勝手は許されず、仲間を思いやる心、協力する気持ちが大切です。試合が始まると「ナイスシュート」「ドンマイ」などの声かけをします。しかし、チームの状況が悪くなると、「ちゃんとやれよ。」と言いついてしまいます。

するとどうでしょう。その言葉でチームはギクシャクして、さらによくはない雰囲気になり、団結力は失われていってしまいます。

ここからもわかるように、どんな言葉を使うのかによって相手に伝わる印象、その場の雰囲気が大きく変わってしまいます。「たかが一言、されど一言」言葉は一言で人を笑顔にしたり、温かい気持ちにしたり、時に泣かせてしまったり、傷つけてしまったりしてしまいます。

人にとって言葉は欠かせないものです。だからこそ考えてから口にしないとけません。普段の生活ではできていても、スポーツをしている時、興奮している時には難しいかもしれません。それでも、相手のことを考えて使う必要があると思います。

ぼくはこの人権旬間で改めて言葉づかいについて考えました。残りの小学校生活を楽しみ、充実したものにすることも、言葉づかいに注意し、思いやる言葉をつかっていきたいと思っています。